

*水槽空洞の掘削作業が進行中！

昨年10月から始まった水槽空洞円筒部の掘削が現在進行中です。高さ73mの水槽空洞円筒部を高さ3~4mの全19層に分割し、下向きに掘り進めており、4/1時点で5/19層の掘削が完了しました。過去に例の無い規模の地下空洞の掘削工事となるため、細心の注意を払って挑みます！

*今後の工事予定

来年2025年1月の掘削完了を目指して、引き続き、残り14/19層の掘削を進めていきます。

工事内容

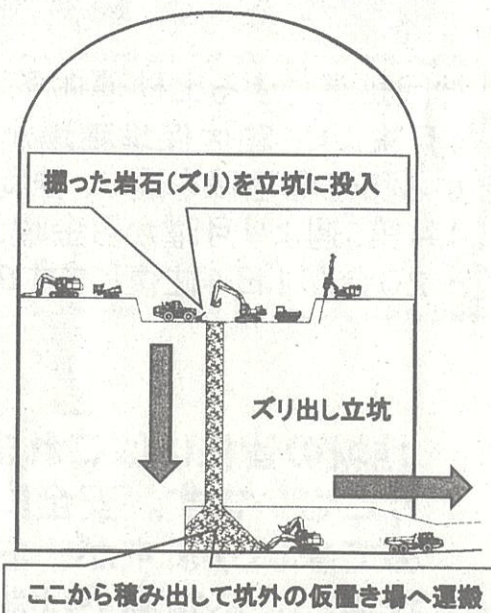
工 事 名：東京大学（岐阜県神岡）ハイパーカミオカンデ
（地下空洞掘削等）工事

工 期：令和4年10月28日から令和7年3月31日まで（予定）

工事概要：ドーム部・円筒部・純水室等の掘削

Technology ~ズリ出し立坑~

円筒部の施工では掘っている場所と外部をつなぐ道路がなく、直接、掘った岩石（ズリ）を搬出することができません。そこで、円筒部中央にあらかじめ穴（ズリ出し立坑）を掘っておき、そこへズリを投入し、立坑下部のズリ積込基地から引抜きを行うことでズリを搬出していきます。ズリ積込基地からは25tアーティキュレートダンプという大型のダンプ車で坑外のズリ仮置き場までズリを運搬しています。



東京大学より

本体空洞の掘削が順調に進んでおります。今年度で終わる掘削工事の後も2026年まで水槽建設など引き続き建設工事は続く予定です。工事車両の通行等で地域の皆様にご迷惑、ご不便をおかけしますが、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

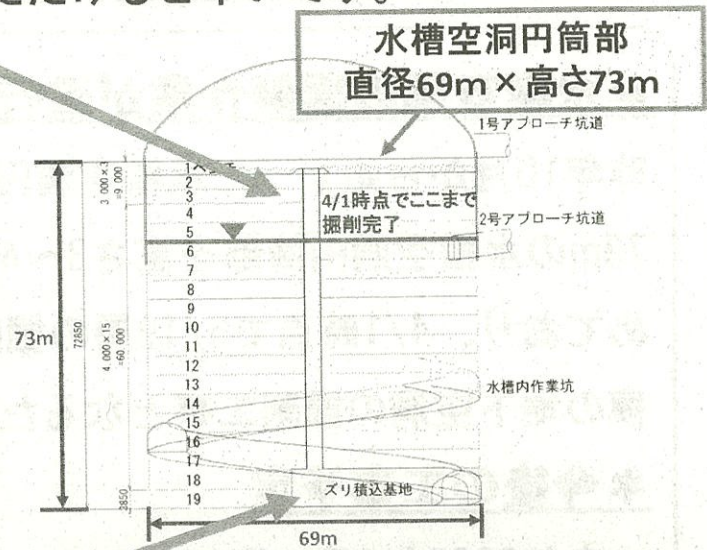
工事進捗写真

現場内の様子をご紹介します。トンネル工事の技術、現場のスケールの大きさを皆様にも感じ取っていただけると幸いです。



円筒部施工箇所

ズリ出し立坑上部



ズリ出し立坑下部

ズリ積込基地



トンネル坑外
(ズリ仮置き場)

神岡鉱業による土砂運搬予定

4月末より、和佐保堆積場から神岡鉱業による土砂の運搬が行われる予定です。堆積場から和佐保地区を通り、神岡鉱業管理区域へ運ぶ経路を頻繁にダンプが往復します。4月第3週より月曜から金曜、7時半から12時、13時から16時半の時間帯で、ダンプ15～20台が1日4往復しますので、1時間に8～10往復での運搬となる予定です。

現場からのお願い

地域の皆様にはこれまでも工事にご理解とご協力をいただきありがとうございます。安全には鹿島、協力会社とも十分注意をして工事を進めてまいります。お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。不定期ではありますが、今後も工事進捗をお伝えいたします。

東京大学 宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設
〒506-1205 飛騨市神岡町東茂住456 (0578) 85-2116
鹿島建設(株) 中部支店 神岡HKトンネル工事事務所
〒506-1105 飛騨市神岡町和佐保1084-3 (0578) 86-9001